

上毛町の今と未来！

考えてみよ~



子ども探検隊II発表会

8月29日(日)は3日間の探

検隊を通して学んだこと、感じたことの発表会を保護者の方を招いて行いました。

午前中は、発表のための資料づくり。子どもたち全員の自由な意見をとりまとめるため、班ごとにワークショップ形式で行いました。一人ひとりが、それぞれの課題について、自分の感じたことなどを発表し、みんなで話し合い協力して資料を完成させることができました。

慣れない作業の後はお腹が空きます。昼食は、食進会の皆さんに郷土料理のだんご汁と



3日間の探検で感じたことを友だちと一緒に意見を出し合い、発表することで、上毛町の未来を真剣に考えてもらいたい。



上毛町について、たくさんの事を見て、体験して、考えた3日間！初日は遠慮しがちだった探検隊のメンバーもすっかり仲良くなれました。まとめでは自分の感じた事、考えた事が次々飛び出します。子どもたちがまとめた意見の一部を役場、たいへいの里、西吉富コミュニティセンター、げんきの杜に掲示します。



旧西友枝小学校の見学

8月18日(水)の探検隊の会場は旧西友枝小学校。今年の3月に閉校し、現在では跡地の利用方法が検討されています。この校舎の活用方法を子どもたちにも考えてもらおうと、学校の探検を行いました。説明は昨年度まで、旧西友枝小学校に通っていた原岡和輝君。学校の全てを知り尽くしていく、隅から隅まで案内してくれました。



「わ~つ」という大歓声が上がった、バケツプリン！自分たちで作った大迫力のデカプリンをみんなでつづいて食べる表情は笑顔、笑顔、笑顔！

バケツプリンづくり



一度は、飽きたほどプリンを食べてみたいという思いを実現するために、バケツでプリンづくりに挑戦しました。バケツに入れた材料を混ぜ冷やして待つこと5時間。固まつたかどうか不安一杯なのは子どもたちよりスタッフ。恐る恐るバケツをひっくり返し、プリンが現れた瞬間は大歓声。子どもたちの表情はとても活き活きしていました。

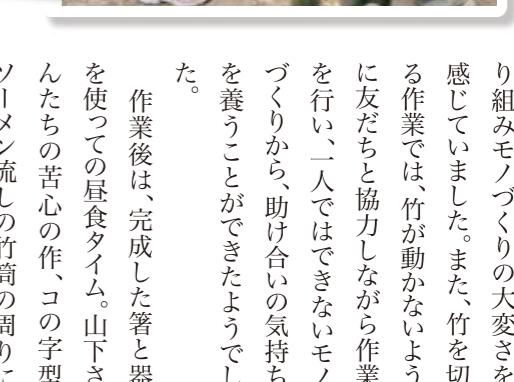
各班とも思つたより上手にできいて、スタッフもほつとするバケツプリンでした。



手作りの竹箸と器でソーメン流し

一度は、飽きたほどプリンを食べてみたいという思いを実現するために、バケツでプリンづくりに挑戦しました。バケツに入れた材料を混ぜ冷やして待つこと5時間。固まつたかどうか不安一杯なのは子どもたちよりスタッフ。恐る恐るバケツをひっくり返し、プリンが現れた瞬間は大歓声。子どもたちの表情はとても活き活きしていました。

各班とも思つたより上手にできいて、スタッフもほつとするバケツプリンでした。



一度は、飽きたほどプリンを食べてみたいという思いを実現するために、バケツでプリンづくりに挑戦しました。バケツに入れた材料を混ぜ冷やして待つこと5時間。固まつたかどうか不安一杯なのは子どもたちよりスタッフ。恐る恐るバケツをひっくり返し、プリンが現れた瞬間は大歓声。子どもたちの表情はとても活き活きしていました。

作る楽しさ、食べる感動

考えてみよ~

いろいろなモノづくりを体験し、モノづくりの大変さからモノを大切にする気持ちと友だちと協力する気持ちを養つてもらいたい。

り組みモノづくりの大変さを感じていました。また、竹を切

る作業では、竹が動かないよう

に友だちと協力しながら作業を行い、「一人ではできないモノづくりから、助け合いの気持ちを養うことができたようでした。

作業後は、完成した箸と器を使っての昼食タイム。山下さんたちの苦心の作、コの字型ソーセン流しの竹筒の周りに

子どもたちが集まり、流れで食べていました。この日の子どもたちの笑顔は最高潮で、樂しい夏休みの思い出になつたよ

うです。

